

令和7年度第2回尾張旭市総合教育会議 会議録

1 開催日時

令和8年3月25日（水）午後3時30分から午後3時50分まで

2 開催場所

尾張旭市役所南庁舎3階 講堂1

3 出席者

市長 柴田 浩  
 教育長 三浦 明 教育委員 鈴木 厚子  
 教育委員 戸原 弘二 教育委員 近藤 三博  
 教育委員 市野 正枝

4 傍聴者数

1名

5 出席した事務局職員

教育部長 山下 昭彦 教育部次長兼教育政策課長 大内 裕之  
 管理指導主事 伊藤 和由 学校教育課長 森 朋宣  
 教育政策課係長 高橋 浩代  
 企画部長 山本 和男 企画課長 谷口 洋祐  
 企画課係長 丹羽 祐己 企画課主査 長江 賢造

6 報告事項

業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について

7 会議の要旨

企画部長	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから「令和7年度第2回尾張旭市総合教育会議」を開催させていただきます。</p> <p>当会議につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、公開の対象とするとともに、会議録作成のため、会議中の発言を録音させていただきますので、御承知おきください。</p> <p>それでは、開催に先立ち、市長より挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>尾張旭市長の柴田でございます。</p> <p>本日は、お忙しい中、御出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>教育委員会の皆様方におかれましては、日頃から教育行政はもとより、市政全般の推進について、多大な御理解と御協力を賜り、この場をお借りし、厚く御礼を申し上げます。</p> <p>本日の会議は、報告事項の1件です。</p> <p>当会議が今後の本市の教育に対して、実りのあるものとなるよ</p>

	う、限られた時間ではございますが、どうぞよろしく申し上げます。
企画部長	<p>&lt;配布資料の確認&gt;</p> <p>それでは、お手元の「次第」を御覧ください。 ここからの会議の進行につきましては、市長にお務めいただきます。よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>それでは、皆様よろしく申し上げます。</p> <p>第1回会議で情報共有させていただいたとおり、いわゆる「給特法」の改正により、学校における働き方改革の更なる加速化に向け、「教育委員会は、業務量管理・健康確保措置実施計画を定め、遅滞なく、これを公表するとともに、総合教育会議に報告するものとする」と定められたことから、実施計画の策定内容を教育委員会から報告いただくものです。</p> <p>それでは、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>それでは、尾張旭市教育委員会において策定しました、「尾張旭市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」について、報告させていただきます。</p> <p>資料1をお願いします。</p> <p>項番1、「策定の経過」をお願いします。</p> <p>昨年6月に、「公立の義務教育諸学校等の教職員の給与に関する特別措置法」いわゆる給特法が改正され、新たに、文部科学省が別に示す指針に基づき、教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を策定することが規定されました。</p> <p>9月には、指針が示されたほか、内容に関する説明の通知などがあり、11月の令和7年度第1回総合教育会議で、「学校における働き方改革のさらなる加速化について」情報共有を行いました。</p> <p>12月に入り、本格的に策定事務に着手、校長会議等で現場の意見を反映した計画案を、3月定例教育委員会において審議ののち、議決され、「尾張旭市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」が策定されました。</p> <p>本日は、給特法第8条第3項の、「教育委員会は、業務量管理・健康確保措置実施計画を定めたときは、遅滞なく、公表するとともに、総合教育会議に報告するものとする。」との規定に基づく報告となります。</p> <p>資料2を御覧ください。こちらが策定されました、「尾張旭市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」です。</p> <p>表紙をめくっていただくと、目次があります。</p>

	<p>計画の趣旨・現状、目標、計画の期間、実施内容、今後のフォローアップが全体の構成となっています。</p> <p>本編の内容について、資料1を使って説明させていただきます。それでは、資料1にお戻りください。</p> <p>1枚めくっていただいて、項番2からが、本編の内容の説明になります。</p> <p>項番2、「計画の趣旨」にありますとおり、本市の掲げる教育理念である「つながり合い 伸びる 尾張旭の教育」の実現のため、業務量管理・健康確保措置について、給特法に基づく計画として策定をするものです。</p> <p>現状として計画に記載されている内容は、資料の項番3、「現状」のとおりです。</p> <p>1箇月の時間外在校時間で、45時間を上回る割合が15%程度、1年間における1箇月時間外在校等時間の平均時間が25時間程度となっています。</p> <p>こうした現状を受け、項番4に、計画における目標と計画期間を記載しています。</p> <p>具体的な目標数値として、1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%、1年間における1箇月時間外在校等時間の平均時間を30時間程度を掲げるとともに、ワークライフバランスや働きがい等に関する目標を掲げています。</p> <p>また、計画期間を、令和8年度から令和11年度までとしています。</p> <p>次に、実施する措置の内容として、次ページの項番5にありますように、国の指針が示す、業務の3分類である、「学校以外が担うべき業務」、「教師以外が積極的に参画すべき業務」、「教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務」に区分し、実際の取り組み内容を記載しています。業務の3分類については、資料の次のページ左下に、文部科学省の作成した資料を掲載しています。ここで記載されている19の項目それぞれについて、本市において取り組む内容を記載しています。</p> <p>また、学校における措置の推進に関する取組、教職員の健康及び福祉の確保に関する取組について記載をしております。</p> <p>最後に、項番6にありますとおり、関連する取組、今後のフォローアップとして、「実施状況の把握、総合教育会議への報告」、「教育委員会における各学校への支援の強化」、「保護者、地域の理解を促進するための周知」などを記載しています。</p>
--	---

	<p>資料の後ろ2ページは、文部科学省が作成した、周知用のチラシです。こうしたものを有効に活用し、周知を図っていきたくと考えております。</p> <p>説明は以上となります。</p>
市長	<p>ただいま、資料の説明がありました。</p> <p>本市の掲げる教育理念である「つながり合い 伸びる 尾張旭の教育」の実現のため、業務量管理・健康確保措置について、給特法に基づく計画として策定したとのことでした。</p> <p>それでは、皆様からこの件に関して、補足しておきたい事項などがあれば、御発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育長	<p>本計画については、先ほど開催された教育委員会での内容についての議決を経て、策定されています。委員の皆様からは計画に基づく取組として、例えば、数値目標の管理はしっかりしてほしい、教育現場に携わる人材が不足しているため、増員してほしいといった貴重な御意見をいただいています。このことを踏まえ、本日の総合教育会議では、私が教育委員会を代表して意見を述べさせていただきます。</p> <p>私は、教育長として、学校に出向き、授業を見る機会が多々あります。その授業には、事前に学校として、準備している研究事業や公開授業もあれば、普段、行われている授業もあります。その授業の中で、時々、残念な光景に出会うことがあります。それは準備不足により質が低くなってしまっている授業です。</p> <p>その授業を受ける子どもたちは、少し寂しそうな、不安げな表情で、教師ではなく、教科書に目を落としています。後で話を聞くと、校務の業務、行事の準備など、目の前の仕事で、余裕がなく、授業準備まで手が回っていなかったとのことでした。</p> <p>授業の準備は、子どもたちへの最高の手紙とも言われています。どんな仕事にも準備があります。教壇に立つ教師にとって、授業の準備は、それと同じです。授業の準備時間すら取れないほど忙しい、今の学校は変えなければいけません。</p> <p>今回、教師が子どもたちと向き合う時間を確保するために、この計画の策定があります。その内容には、「学校以外が担うべき業務」、「教師以外が積極的に参画すべき業務」、「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」として、19項目が挙げられています。</p> <p>これらの業務は、学校や教育委員会だけで、できるものではありません。学校、教育委員会、行政、地域が連携して、尾張旭市という自治体総がかりで取り組んでいく必要があります。</p>

	<p>子どもたちは、我々の未来です。ぜひ未来の尾張旭市のために、この計画の達成に向けて、市長さんをはじめ、市長部局の御理解、御協力をお願いしたいということで、教育委員会を代表して意見を述べさせていただきました。</p>
市長	<p>この計画をどう活用し、どう達成するかという部分が地方自治体に任されているのではないかと感じています。</p> <p>働きやすい環境が整っていないと、人材の確保が難しくなり、それにより人材不足と業務増大という悪循環を招いてしまいますので、教職員の方々が心身ともに健康であるということを目指す必要があります。</p> <p>教育長から話があったとおり、教師が子どもたちと向き合う時間を確保するということが最も重要だと感じますので、その時間をどうすれば確保できるかということ、市長部局と教育委員会の共同で取り組んでいきたいと思えます。それが結果的に子どもたちの健やかな成長につながっていけば、ありがたいなと思っておりますので、市長部局としては、全力でサポートをしていきます。</p> <p>職場環境の整備は、限られた時間をどう割り振るかということが重要になるかと思えます。また、職場環境については、様々な問題が複雑に絡みあった上で、現場から様々な相談があると思えますが、それらについても一つ一つ真摯に対応していけると良いのではないのでしょうか。</p> <p>ほかに意見等がありますでしょうか。</p>
	<意見なし>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後の総合教育会議では、毎年度、実施計画の実施状況について、教育委員会からの報告が必要になりますので、御承知おきくださいますようお願いいたします。</p> <p>本日は、以上で終了です。</p> <p>議事の円滑な進行に御協力をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>事務局に進行を返します。</p>
企画部長	<p>それでは、これもちまして令和7年度第2回尾張旭市総合教育会議を終了させていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>